春挙忌

ー　持仏堂の開帳と春挙作品の里帰り　ー

7 月 12 日は、郷土の巨匠山元春挙画伯の命日にあたります。
この度、画伯の別邸蘆花浅水荘（国指定重要文化財）において、下記のとおり記念行事を開催致します。
是非この機会に本邸を訪れ、画伯の偉業（裏面参照）に触れるとともに 100 年前の日本文化に想いを馳せて下さい。

日時：7 月 12 日（木）～ 7 月 14 日（土）
10：00 ～ 16：00（14 日は 12 時まで）
最終日の午後は鑑賞会開催につき拝観はできません
場所：蘆花浅水荘（ろかせんすいそう）（大津市中庄 1-19-23）【裏面地図参照】

行事：持仏堂開帳（一般初公開）
邸内拝観（庭園一般開放）
春挙作品展示（２階アトリエ）
作品鑑賞会　14 日（土）午後 1 時より
美術館学芸員の作品解説と画伯ゆかりの人達による春挙談義（要申込み：先着 30 名）

蘆花浅水荘 持仏堂

参加費：拝観料 500 円（庭園散策無料）
鑑賞会 500 円（別途）

※小学生以下のお子様の入邸は文化財保護の観点からご遠慮頂いております

申し込み、お問い合わせ

企画舎 羅針盤
TEL 077-533-1941
E-mail info@rashinban.main.jp

主催　企画舎 羅針盤
大津市平津一丁目 21-30
協力　滋賀県立近代美術館

この催しは「平成 30 年度大津市協働提案制度テーマ型提案事業」の一環として運営しています。

画伯が残した遺言を今に生かし未来に繋ぐ事業

企画舎羅針盤

滋賀県大津市、膳所（ぜぜ）という小さな城下町の琵琶湖のほとりにおもむきのある数寄屋づくりのお屋敷がビルに挟まれひっそりと佇んでいます。「蘆花浅水荘」と名付けられたこの建物は明治中期から昭和初期にかけて名を馳せた京都画壇の重鎮、帝室技芸員山元春挙画伯の別邸であり、画伯自らが設計、監修した見事な大正建築（国指定重要文化財）です。

私達は郷土の巨匠が残したこの貴重な文化遺産を守り続けるには本建物の積極的な活用且つ運営が必要と考えます。

画伯は晩年（昭和６年）膳所町制施行三十年記念史に本別邸を「美術工芸家その他の人々の集会場に開放し云々」と日本文化発展に寄与する旨の文言を残しています。

この言葉を画伯の遺言ととらえ、蘆花浅水荘を日本文化の発信基地と位置付けるとともに私達が現在抱えている日本文化衰退の危機を抑制し、次世代に向けた活路を見い出していく所存です。

本計画には画伯の孫にあたる山元寛昭氏の積極的な賛同を頂くとともに、地域住民、市民団体、研究機関、行政等の協力による協働作業で進めてまいります。

先人の遺産である史跡は残そうという意志があって初めて次の時代に伝えることが出来ます。

ここには私達が暮らす日本という国の昔と今が同じ時を過ごしています。

蘆花浅水荘
大津市中庄 1-19-23
TEL077-522-2183

企画舎 羅針盤
大津市平津 1-21-30
TEL077-533-1941